

特別に強い一種の匂ひをもてる人であつて、其衣服が永く其匂ひを失はざりしことを述べて居る。近頃の人では、瑞西の人相學者ラヴァーテルが、特に鋭き嗅覺を有して居つて、多くの知人を其匂ひに依つて知り分ける事が出来ると公言した。或る研究家の説によれば、人間の匂ひは其皮膚より分泌する汗、其他のものに原因して居る。其分泌は種々の原因によりて盛衰が起る、例へば運動をしたるときは、発汗劑でも飲用したる時の如き、若くは何か非常に恐れ入つた事でもある時の如き、此等の分泌は激増する。而して其分泌物の質と量とは、亦體質にも關係がある。多くの例によりて考へるときは、毛髮の色は其人の匂ひと關係があり、赤い毛髮の人は、男でも女でも匂ひが強ひと云ふ。人間の匂ひについて細心研究したるドクトル、ガロヒンの説によれば、美しき髪をもてる婦人は、多く龍涎香又は麝香の匂ひをもち、褐色の髪をもつ婦人は多少のヴァイオレットの匂ひを放つと云ふ事である。多くのヒステリー症にかかれる人は、左程鋭き嗅覺をもたぬ人にも容易に

みとめ得べき程度のヴァイオレットの匂ひがある。肺病の人は、其病の初期に於ても、既に一種特別の匂ひをもつ。其他種々の病氣が、それ／＼特種の匂ひを其病人に與へる。かくの如く各個人が特有の匂ひをもつ其外、各種が又特有の人的種別的匂ひをもてる様である。或る場合に於ては、此事は一般に認められて、疑の容るべき餘地がない程の事實となつて居る。例へば白人種には、黒人が山羊の匂ひをもち、蒙古人種が一種名状すべからざる不快の匂ひをもつことが感得せられ、又黒人及び支那人の方よりは、歐洲人が物の腐つたる如き、又死骸の如き匂ひがあると云ふし、白人の婦人の匂ひは、特に日本人に對して不快の感覺を與へると云ふ事である。(サイエンチフィックアメリカンより抄譯)

如何にして美人とな

るか 文學士 桑田芳藏

左に掲載する所のものは去月三日通俗心理學講演會に同氏の

述べられたる談話の主要なり。

○表情の意味を簡明に言ひ盡すことは、頗る難しいことと思ふ、然し表情に就て話を考へるとするには、是非とも其大體の意味でも定めて置かねばならぬから、自分は表情を次のやうに云ひたい、則ち表情とは身體の形の上と現れた變化を意味するのである。

○不完全ではあるが、表情の意味を、右の通り定めて、さて表情には、凡そ三種の類別をすることが出来ると思ふ(一)血液及呼吸の表情(二)顔面の表情(三)身體の表情、即ち是れである。

○感情の狀態が、靜かで穩である時は血液の運動が穩かで呼吸の具合も落付いて居るが、一度恐怖とか心配とかの爲めに、心海に波瀾を生じ感情の狀態變則となると、血液は急流の奔騰するが如く、呼吸は早鐘をつくやうになつて、其結果は血管の膨脹、鼓動の不安てふ表情を呈し來るのである、平生の狀態につきては、自分の身體に血液の循環して居ることや、呼吸をして居ることを知らないで暮して行くが、感情のとなはないと、初めて

自分の體內に血が循環し、呼吸の鼓動をして居るのに感付くのは、毎々吾等の出會す經驗である。

○顔面の表情は、耳目鼻口の上に表示するもので、其殊に著しいものを眼とする、眼の表情としては

(一)に眼球の運動具合(二)に眼の形の大小てふ二點より着眼することが出来る、多方面を注意する

とか驚愕を示すときは眼球の運動は速であるし、注意力の缺けて居る時若くは物憂ひ感情を現はす場合は眼球の運動止んで停滯沈靜となる、又第二

の場合で眼の張りの大なるは驚愕とか注意の精神狀態を示し、其小さいのは多く不快の感情を表現

するものである、目の次は口の表情であるが、口の表情は、大體苦いといふ表情、甘いといふ表情、

酸いといふ表情、及くいしむる表情の四種を擧げ得ると思ふ。一は不快の感情を示し、二は口の角

が少し釣る氣味に見え、快感と愛情とを示し、三は泣顔、四は決心を示すのである、耳と口との二

者は、人に於て餘り表情を有しない方であつて、之は此の二者の運動が、人間に甚だ缺けて居る爲

めだと信する、然し動物には耳の運動自由なるが

ため、従つて表情も存在する、犬が耳を垂れて柔
和の情を表し、耳をそばだて、警戒恐怖の情を示
すなど適例である。

○表情の種類第三は身體の表情で、之は又普通
に身振とも名づけて居る、例を以て述べると、犬
が憤怒の情を表現するに當つては、尾も耳も振り
立つるが、喜の情を示すときは、耳を垂れ、尾を
振り身體を様々に屈曲する態をとる、又人が驚愕
のとき、双手を打開き、嫌厭を示すとき、當面の
物體を掻き除く様を演じ、其外苦悶に手を組むな
ど皆な此種の表情に屬するものである。而して此
身振の表情は其起因りに従つて指示と模倣との二
種に分類することが出来る、前者は純心理的で其
表現は心理的に已むを得ざる性質のものであるが
後者は心理的歴史的で、故意に之を爲すものであ
る。例へば接吻の如き、何か歴史上の關係から起
つて居るものであつて、生後間も無き嬰兒には、
殆んど接吻てふ現象が認められないに徴しても之
が純心理的にあらずして、歴史的因縁に繋れて發
生することが判る。野蠻人の中には、口で接吻を

せず、鼻で接吻をするものがある。鼻を只接觸
たのみで挨拶の意味を表はす者も有れば又鼻を摩
擦するのを好意の表徴と心得て居るものもある。西
藏の如きは舌を出すのを挨拶の表徴と考へて居
る。日本人が低頭を禮とし、西洋人が握手を禮と
するなども、皆何か歴史的關係が伏在するものと
云はねばならぬ。

○表情の種類は以上に擧げて終つたから一寸こゝ
で表情と人相とを比較して見やう。表情は常に變
化するもので、動的なるを本質とするが、人相は
靜的である。かく云はれ、二者は靜動全く相反す
るやうに思へるが、實際は互に密接なる關係を有
して居る。世に所謂人相觀なるものは、鼻の形と
か眼の形とかを多く列擧し之に一々註を施し、若
し人來つて人相の判断を乞ふときは、前以て列擧
せる何れに該當るかを見て、而して後註の文句を
棒暗記に告げるのである。されば科學の眼を以て
見ると、何等の基礎も根據もない流言妄語と云は
ねばならぬ。人相の中で科學的部分と認むべきは、
表情が固定して人相になつたもの丈である。表

情は幾度か之を繰返すことに由つて、終に所謂地
と變するもので、かゝる起原に基づく人相は、人
物判断の土基となることゝ出来る。伊太利の犯罪
學者ロンフロンは、犯罪者は人相及骨相上、
既に業にかゝる運命に定められたものであると説
いた、これは今日の學理から立論すると、稍々否
難の箇所がないでもないが、然し奇型若くは變種
徴候は、大體に精神の不健全を暴露する者と云つ
て差支ない。

○表情は年齢、男女、種族及教育の四點に由つて
表現に差異がある(一)年齢上で云へば小兒の表情
は粗つぱいが強烈である。大人になると、其表情
餘程緩和される(二)男女では女が容易に表情を示
すに反し、男は之を露出することを慎み制する。傾
がある(三)種族により表情亦自ら差異がある例
令英國人は萬事色に表はさぬ方である、獨逸人は
表情露出に重苦しい所が見え、佛人は輕快、伊太
利人は巧妙と評される。然らば日本人は如何かと
云ふに日本人自身には一寸客觀的に見難いが、概
して表情を表さない方で、或西洋人の如きは、日

本人の表情を評して、忍耐に満ちた趣があると云
つた、日本人が表情に乏しきは武士教育の影響か
と思ふ、(四)教育も亦表情に變化を與ふる者であ
る、野蠻人に教育を施すと必ず其表情に變化を生
ずるのは明である。

○更に話頭を一轉して、藝術に於ける表情のこと
を話して見やう、こゝに藝術と云ふのは、芝居と
か能狂言とか、舞などを總稱したのである、此藝
術の中には表情に對し、大體二通の見地があるや
うに見える、一は即出來るだけ實際の表情に近附
けうやとするもので、或は之を寫實派の名を以て
呼ぶことも出來やう芝居は此の方である、二は即
表情を或程度に止めやうとするもので、能狂言
舞、踊は之に屬する、例へば能狂言に就て見るに、
能狂言は總て表情を或程度に止めやうと勉める、
芝居ならば泣く時に色々の所作もするが、能狂言
では片手を面に當てるのみで其意味を表す、又能
狂言には總じて悲哀の色が籠つて居るやうであ
る、これは抑々能狂言發生の時代と關聯して考察
すべきもので能狂言は足利氏てふ武家隆盛の時代

に淵源するものであるから、其趣味が自ら武士の嗜好に合致せざるを得なかつたのである、又一方に能ひ言は佛敎の調子と配合したから、こゝに一味の悲哀が交らざるを得なくなつたものと見える。

○最後に大問題が取殘されて居る、それは表情と感情そのものとの關係に就てである、心理學の泰斗ヴントの説に由ると感情がまづ存在して然る後表情が露出すると説くのであるが、ゼームス、ラングは之に反對して表情があつて然る後感情を生ずるのであると考へて居る、後者の説の根據は約めて二點にすることが出来る(一)例へば病氣で呼吸が重くなる苦悶の情湧出し來るの類は、吾人日常の經驗であつて精神病者に最も多いが、これが此説の起る一因である(二)は催眠術を施して其被験者の態を泣くときの様子にすると、やがて其人は涙を流して泣き出す、これも亦此説の理由となつて居る、以上の二説は、何れを可とすべきか未だ充分の斷定を下すまでに立至らないが最近最も穩健と信せられて居るものは兩者を折衷したも

ので、即ち感情が表情を誘起し表情は又感情を強くすると説くのである、説の是非は暫く措いて、ゼームス、ラング説は精神修養に偉大な敎訓を與へるものと思ふ、言を換へて云へば感情陶冶に効力があると思ふ、腹が立つたら煙草一ふくてふ俚諺は、這般の眞理を語るもので、感情が起つたら、それに反對な表情をすると幾分か感情を柔げ得るのである、憤怒の情燃え立つとき、無理にも笑つて見ると、やがて心は自然に溶けてくるのである。

○以上述べた諸點を研究して表情に注意すると、必ず人間の容姿を作り其美を發揮すると思ふ。

(完)

●配布玩具の説明(承前)

記者

○自一歳至三歳男兒
1 改良太鼓 ブリキ製で首にかける様になつて居る、上方にシンバルが付いてゐて之を上から押す